

世界と国際を学ぶ大学としての 理想と責任。

大きく変化していく世界の中で、大学が果たす役割とは何か。

どのような教育をし、どのような人材を育成すべきなのか。

建学の理念「言葉は世界をつなぐ平和の礎」のもと、

世界と国際を学ぶ大学として国際教養人を育ててきた神田外語大学は、

常に理想の教育の実現をめざしてきました。

2023年度から実施する外国語学部の新カリキュラムは、

新しいグローバル社会の中で輝くための素地となる国際教養と、

人生100年時代をよりよく生きていくための能力の育成を強化するものです。

「基盤教育の充実」、「研究科目の強化」、

そして「ゼミの必修化」という新カリキュラムの3つの柱は、

単に仕事という狭いフィールドで発揮するものではなく、

もっと広い、人生そのもののステージで活かすことができる能力を養います。

私たちがいま理想としている大学教育を具現化した

外国語学部の新カリキュラムが、2023年4月に始まります。



神田外語大学のLINE公式アカウントを「友だち追加」しよう!

オープンキャンパスや入試の情報など、受験生に役立つ情報をお届けします。
ぜひ、友だちになってチェックしてみてください。



〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1 アドミッション&コミュニケーション部
TEL: 043-273-2826 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/>



言葉は世界をつなぐ平和の礎

神田外語大学

いまこそ、世界を学ぶとき。

人とひと、国と地域。 つなぐのは、君たちだ。

コミュニケーションに必要な言語を学ぶだけでなく、国と地域、そして人々を学ぶことで、世界と向き合う力を身につけているのが、神田外語大学の学生たちです。先輩たちは専攻する言語のほかにどんなことを学んでいるのでしょうか？ 彼らが夢になっている学びと将来の夢を紹介します！

気持ちを伝える



**情報を伝えるだけでなく
翻訳機でも十分
気持ちを伝えることで
お互いがわかり合える**

人とひとが関わる時、そこにはコミュニケーションが必要になります。ただ情報を伝えるということなら、翻訳機があれば十分かもしれません。しかし、その人の歴史や文化の背景も乗せて、**自分の気持ちを伝える**ことがコミュニケーションであり、それが言葉話すということだと私は思っています。相手の気持ちを理解するための一歩を踏み出せば、きっとお互いがわかり合える。コミュニケーションを大切に、**世界と深く関わって**生きていきたいと思います。

インドネシア語専攻 3年 田村 鯨斗
(東京都立王子総合高等学校出身)

**身につけたビジネスの力を
活かして世界で活躍したい**

国際ビジネスキャリア専攻では、ビジネスの理論と実践的なスキルを習得します。中でも私が興味を持ったのは「簿記会計」の授業です。企業の財務を学ぶことで、経営者の視点をもつことができました。就職先には国際物流企業を選びました。国内外を問わず展開される物の流れは、ビジネスや私たちの生活に欠かせません。海外駐在のチャンスもあるので、**身につけた経営者視点**とビジネス英語の能力を活かして、チャレンジ精神で仕事をしていきたいと思っています。

国際ビジネスキャリア専攻 4年 松本 謙友
(千葉敬愛高等学校出身)

簿記会計



**韓国のことはもちろん
世界中のことをもっと知りたい**

「文化人類学概論」で、日本とアメリカのジェンダー問題を比較して学びましたが、大きな驚きと発見があった授業でした。なんとなく興味や関心があるテーマでも、根本的なことから理解できると、そこから新しい考え方が生まれます。韓国語専攻だから韓国の文化を学べば良いということではなく、世界中のいろいろな国や地域を学んで、さまざまな考え方にふれることがとても刺激になり、もっと世界中のことを知りたいと思うようになりました。

韓国語専攻 3年 大蔵 麻里
(安田女子高等学校出身)

**海外に日本の文化を伝え、
日本に海外の文化を
広める仕事がしたい**



異文化コミュニケーションの授業で「正しい英語」について学びました。イギリスやアメリカだけではなく、さまざまな地域でそれぞれの英語が使われています。コミュニケーションのためには、正しい英語に縛られるよりも伝えることを中心に考えることも必要ということに気づかされ、多様性について深く考える機会になりました。将来は商社で働いて、世界に**日本の文化を広められる**ような仕事がしたいと思っています。

国際コミュニケーション専攻 4年 久須田 桃子
(宮城県佐沼高等学校出身)

**民族や宗教について
学んだことが
世界中の人々と一緒に
働くために役立つ**

「民族・宗教問題研究」という授業で宗教問題の背景について学び、現代の国際情勢を身近な問題として捉えることができるようになりました。またフランスで海外ボランティアを経験したことで、ヨーロッパの移民問題などの深刻さを知ることができました。外資系ラグジュアリーブランドへの就職が決まり、これからは価値観が異なる世界中の人たちと一緒に働くことになります。大学で学んできた多様な文化を理解する力を仕事に活かしていきたいと思っています。

英米語学科 4年 嬉野 七穂
(植草学園大学附属高等学校出身)

国際情勢



データ・サイエンス



**世界の気象災害を防ぐという
夢への道筋が見えてきた**

「グローバル・ディスカバリー」は、世界には多様な価値観や考え方があり、それを自分がまるでわかっていなかったことに気づかされた授業です。GLA学部には、そんな世界の見方を変えるきっかけを与えてくれる科目がたくさんあります。**データ・サイエンス**もそんな学びの一つです。私の夢は世界各地で増えている**気象災害を解決したい**ということですが、データ・サイエンスを学んだことで、夢の実現への道筋が見えてきたような気がしています。

グローバル・リベラルアーツ学科 2年 長門 航
(敬愛学園高等学校出身)

非言語 コミュニケーション

**言葉によらない人とひととの
コミュニケーションを学んだ**

私が好きな授業に「非言語コミュニケーション論」があります。ジェスチャーやアイコンタクト、SNSで使う絵文字など、言葉でなくても通じ合えるものは何か、その共通認識はどこからくるかといったことを研究します。コミュニケーションとは何かを深く考えるきっかけになりました。私は人を笑顔にするのが大好きなので、大学で培った**コミュニケーション能力**を活かして仕事をしていきたいと思っています。

ブラジル・ポルトガル語専攻 4年 村井 紫音
(千葉県立成田国際高等学校出身)

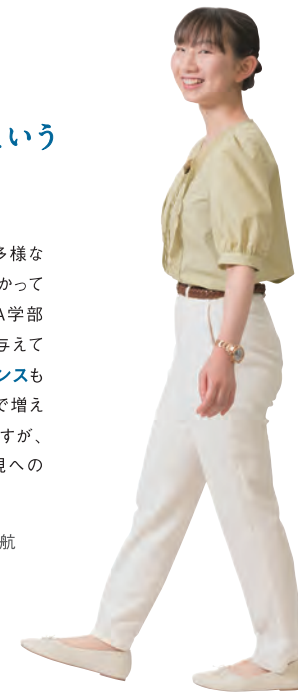


**スペインへの留学で
文化と歴史を理解したい**

「スペイン語の歴史と地理」という授業が好きです。スペイン語は世界に広がっていく中で、地理的にも歴史的にもさまざまな影響を受けて、いまの形に変化しています。そんな言葉と世界との関わりを学べるのが、この授業の面白さです。これからの1年間のスペイン留学で、そうした歴史や文化をしっかりと理解したいと思っています。帰国後の目標は、まず、海外の日本国大使館で働く**在外公館派遣員**としてスペインへ行き、その後大学院で研究すること。日本と世界をつなぐ仕事につなげていきたいと思っています。

スペイン語専攻 3年 小村 深優菜
(千葉県立磯辺高等学校出身)

在外公館派遣員



**世界や
国際問題のことを
深く探る視点が
身についた**

日々のニュースで取り上げられている世界のさまざまな問題をもっと深く知りたいと思い、**地域や国際を研究できる授業**を多く受けました。SDGsや国際協力では、どうしても目標のことに目がいきがちですが、その目標達成の過程にはたくさんの課題もあります。先進国の立場と開発途上国の立場の違いなど、これまで気づけなかったさまざまな視点で**国際社会のことが**考えられるようになって、世界がすごく広がりました。

中国語専攻 3年 阿部 朔実
(山形県立酒田西高等学校出身)

地域研究

**培ったコミュニケーション能力を
活かして人と企業を
つなぐ仕事がしたい**

ベトナムは日本企業が数多く進出し、日本との関わりがとても深い国です。英語とのダブルメジャーで**ベトナムの言葉と文化を学ぶ**ことが将来役立つだろうと思いました。自分の可能性を少しでも広げようと、英語教員になるための教職課程と日本語教員養成課程を履修しているため、かなり忙しいのですが、とても充実しています。就職先には人材系の会社を選びました。そこで、**人と企業をつなぐ仕事**を通して、社会に貢献していきたいと思っています。

ベトナム語専攻 4年 照井 千尋
(千葉県立千葉高等学校出身)

言葉と文化

**日本で働く外国人と
日本をつなぐ役割を
担いたい**

「東南アジア社会論」という授業で地域格差や貧困について学んだことがきっかけで、東南アジアの社会問題や教育について興味をもつようになりました。教育で貢献したいと思い、**日本語教員養成課程**を履修。昨年はタイで日本語教育のサポートを1年間経験しました。卒業後は介護系の企業で、日本に興味をもち、日本で働く外国人のサポートをする予定です。会社の内外を問わず、日本で働く外国人と日本をつなぐパイプ役になりたいと思っています。

タイ語専攻 4年 山本 千夏
(埼玉県立豊岡高等学校出身)

日本語 教師



ジェンダー 問題



外国語学部

国際教養を身につけるために、学科・専攻を問わず、言語、コミュニケーション、総合文化、地域・国際などをテーマに各国・地域の文化や歴史、政治、経済などを学び、「コミュニケーション能力」「異文化理解能力」「専門性」を身につけます。

世界を学ぶ、2つの学部

神田外語大学では、外国語学部とグローバル・リベラルアーツ (GLA) 学部の2つの学部で、異文化コミュニケーションを学び、世界の課題と向きあう国際教養を身につけることができます。各学部の授業の一部を紹介します。

グローバル・リベラルアーツ (GLA) 学部

Global Liberal Arts for Peace (平和のためのグローバル教養) をコンセプトに、世界の課題を解決するための教養を「Humanities」「Societies」「Global Studies」の3つの分野で学修。2回の海外留学に加え、世界の課題を解決するための専門分野を英語で学び、世界と対峙できる教養とアカデミックな英語運用能力を身につけます。



注目の授業

非言語コミュニケーション論

外国語学部 講師 申知元

ジェスチャーやアイコンタクトなど、私たちは言語以外の手段も使って人とコミュニケーションを取っています。言語によるコミュニケーションが、人やモノ、出来事、考え方や価値観といった、詳細な情報の伝達に長けているのに対して、非言語によるコミュニケーションは情動や意思の伝達を担い、対人関係の維持・管理・調整に重要な役割を果たしているのです。非言語のメッセージは、仕草や表情、視線、匂いといった身体から発せられるものから、服装や化粧などの人工物、そして対人距離や座席行動など社会状況によるものまで多岐にわたります。この科目では非言語メッセージのさまざまな要素を取り上げ、それらが対人コミュニケーションで果たす役割や機能について考えていきます。



注目の授業

米国社会論

外国語学部 教授 黒崎真

米国での最近の出来事の中から顕著なものを事例に、日米比較の視点を大事にしつつ、その歴史的背景や争点、多様な見解を学んでいきます。テーマは、前編では政治制度、司法制度、移民政策、多文化主義と多文化教育、階級・格差・貧困、人種問題などを取り上げ、後編では人種とスポーツ、ジェンダー、セクシュアリティ、家族・結婚の多元化、宗教事情、銃社会、肥満問題などを取り上げます。授業はアクティブラーニングを取り入れており、最新情報を盛り込んだオリジナルのテキストを読んだ後、グループディスカッションで学びを深めます。一般読者向け解説文の執筆をする最終課題に取り組むことで、トピックについて短い講義なら行える程度の力が身につくはず。



注目の授業

グローバル平和論

グローバル・リベラルアーツ学部 教授 阪田恭代

平和の概念は一つではありません。平和学からみれば消極的平和 (negative peace) や積極的平和 (positive peace) があります。また、国際関係学の視点からみれば、リアリストの平和 (realist peace) ・国家の安全保障 (national security) や、リベラリストの平和 (liberalist peace) ・国際社会の安全保障 (international security) があり、そしてグローバリストの平和 (globalist peace) ・人間の安全保障 (human security) もあります。このように「平和」を幅広くとらえ、平和の思想・概念、理論、そして軍事・紛争、核兵器、人権、貧困・格差、環境など、さまざまな分野における平和の実践例や課題を取り上げながら、演習形式で授業を進めていきます。平和と安全保障をめぐるさまざまな概念や課題を知り、21世紀のグローバル時代の平和とは何かを考えます。



注目の授業

数的思考法

グローバル・リベラルアーツ学部 教授 石井雅章

世の中の課題を解決するためには、データに基づいて現状を的確に捉えることが必要です。データには、現場に足を運んで観察したり、当事者の話を聴いたりして収集した「質的データ」と、各種の統計や質問紙調査などを通じて収集した「量的データ」があります。この両者を適切な方法で活用し、バランスよく組み合わせることで、世界で起きている事象の本質に近づくことができます。数的思考法は、数で事象を捉えるために必要な考え方と手法を身につけるための科目です。具体的には、気候変動やSDGsに関する統計データを用いて、量・変化・割合・散らばり・関係性を数字で測り、そこから読み取れる事実と推測できることを整理し、議論していきます。高校までの数学が苦手でも大丈夫。数で事象を捉えることの便利さと楽しさを体感するための科目です。

世界中で学んでいる先輩たち

神田外語大学では、例年数多くの学生たちが海外に留学しています。GLA学部では2回の海外留学が全員必修であり、外国語学部の学生向けには、本学と留学先大学の両方の学位を取得できるダブルディグリープログラムや交換留学をはじめとした充実した留学システムがあります。



外国語学部

国際協定校・提携校は
26カ国・地域に100校以上

外国語学部では長期留学として「交換留学」「推薦留学」「私費留学」の3つの留学形態があり、世界26カ国・地域に広がる100校以上の国際協定校・提携校に数多くの学生が留学しています。最大50万円が支給される奨学金制度をはじめとしたサポートも充実。ほかにも、長期休暇を利用した海外短期研修に、たくさんの学生が参加しています。

海外留学プログラム

交換留学

大学が窓口となり、国際協定校へ留学する制度。60単位を上限に単位認定可。留学先の授業料は全額免除され、留学期間に応じて給付型奨学金が支給されます。

推薦留学

大学が窓口となり、国際協定校へ留学する制度。60単位を上限に単位認定可。留学先の授業料は基本的に自己負担ですが、留学期間に応じて給付型奨学金が支給されます。

私費留学

海外の大学および、大学で認める高等教育機関へ留学する制度。60単位を上限に単位認定可。留学先の授業料は基本的に自己負担ですが、留学期間に応じて給付型奨学金が支給されます。

ダブルディグリープログラム

本学と海外の大学で2年ずつ学び、双方の学位を取得できるダブルディグリープログラムが2つの専攻で行われています。a.国際コミュニケーション学科国際ビジネスキャリア専攻対象/韓国・又松(ウソン)大学校(ソルブリッジ国際大学) b.アジア言語学科韓国語専攻対象/韓国・慶熙(キョンヒ)大学校(国際キャンパス)

海外短期研修

春季・夏季の長期休暇を活用して実施する。誰でも参加することができ、海外渡航中は引率者も同行。生活面のサポートも受けられます。

留学WEB

「HELLO! WORLD!」

神田外語大学の学生たちが、世界のどこに留学しているかをWebサイトで公開しています。留学中の学習や生活のことを紹介している学生の留学レポートからは、海外での生き生きとした様子が伝わってきます。

https://world.kuis.ac.jp/ryugaku_public/worldMap/ ※PCでの閲覧がおすすめです。



GLA学部

ニューヨーク州立大学への留学など
2回の海外留学が全員必修

GLA学部では、全学生2回の海外留学が必修です。1年次前期の海外スタディ・ツアーではリトアニア、インド、マレーシア・ボルネオ、エルサレムのいずれかに留学し、世界の現実を肌で実感します。さらに、3年次後期にはニューヨーク州立大学(The State University of New York:SUNY)に長期留学。世界から集まる学生たちと一緒に、グローバルな環境でリベラルアーツを深めます。

1回目の海外留学(1年次前期) 海外スタディ・ツアー

入学後6カ月間のグローバル・チャレンジ・タームは、自分のめざすべき道を見つけるための期間です。そのハイライトが、1年次前期の海外スタディ・ツアーです。リトアニア、インド、マレーシア・ボルネオ、エルサレムへ留学し、貧困と格差、戦争と平和、宗教と民族といったテーマを学びます。さまざまなバックグラウンドをもつ人々との交流を通して、多様な価値観を感じ、世の中で起きていることを知り、自分が進むべき道を見つける機会になります。



2回目の海外留学(3年次後期) ニューヨーク州立大学留学

3年次後期には全学生がThe State University of New York(SUNY:ニューヨーク州立大学)に留学します。SUNYは、ニューヨーク州全域に機能や特色が異なる64キャンパス、6,000以上の学科を有し、40万人超の学生が在籍している全米有数の総合大学機構です。留学先の候補は、その中のリベラルアーツを主体とした特徴ある学部を有する7校。SUNYへの留学で、1年次の海外スタディ・ツアーで感じ取った世界が抱える課題の解決に向けて、Peace StudiesやGlobal Studiesなどの学びを深めていきます。



GLA学部一期生たちの成長の記録

「JOURNEY to-CHANGE」公開中!

2021年4月に入学したGLA学部一期生の挑戦を、入学直後から追いかけて記録しているのが「JOURNEY to CHANGE」です。学生たちがどのような壁にぶつかり、どのように成長しているのか。その様子をリアルタイムで紹介しています。



※デバイスによっては読み取れない場合があります。

新カリキュラムの主な特徴 2023年4月、外国語学部は新カリキュラムへ。真の国際教養人の育成を強化。

新カリキュラムのポイント

基盤教育の充実(1年次～2年次前期)

大学での学びを効果的に機能させるアカデミック・リテラシーを強化するために、初年次教育を充実させます。アカデミック・ライティング、デジタル・シチズンシップ、クリティカル・リーディング、数的思考法(データサイエンス初歩)、キャリアデザインの5領域を加えた新しい基盤教育は、国境を越え複雑化する世界の課題に対応できる能力を身につけるためのものです。外国語学部では「英語&地域言語・技能」のダブルメジャーと併せて、豊かな国際教養を身につけた人材を育成します。

国際教養のための新しい基盤教育

アカデミック・ライティング



自分の思考や主張を、根拠に基づいて論理的に説明する力を身につける授業を拡充。論理的思考力とともに、主張の根拠となる文献やデータを適切に引用しつつ、授業レポートや卒業論文に必要な学術文章力の習得をめざす。

クリティカル・リーディング



世界で起きている出来事に常に関心を持ち、信頼性の高い資料に基づいて諸事象を捉える能力を習得する。

デジタル・シチズンシップ



コンピュータや情報技術、メディアを適切な手法で扱い、多様な情報を理解・整理し、発言する力を身につける。

数的思考法(データサイエンス初歩)



スマートフォンやインターネットの利用によって集積されるビッグデータが、すべての社会活動に活用されている。こうしたデータを利用できる能力はいまや不可欠なスキル。適切な手法でデータを扱い、さまざまな事象を科学的、数的な視点から分析する力を養う。

キャリアデザイン



自分自身の生き方と社会におけるあり方を考え、その実現に向けて行動する力を育む。

ゼミの必修化(3年次～4年次)

ゼミとは3年次から履修する「演習」のことです。1年次と2年次に履修した知識を土台に、自身の学問的関心に応じて、さらに発展・深化させる場がゼミです。2023年度からは、ゼミ(研究演習・応用演習)での学びが全員必修になります。研究演習では各教員の専門性を基礎にアカデミックなテーマについて研究し、その成果をまとめます。応用演習では幅広いテーマについて討論、フィールドリサーチ、プレゼンテーションなどさまざまな手法により学びを深めます。

ゼミは、担当教員とゼミ仲間とともに学ぶ「能動的」な勉強の場です。ゼミというと「難しくて、ついていけない」というイメージを抱くかもしれませんが、そんなことはありません。同じことに興味をもっている友だちや普段接することのない先輩と関わることができ、講義の時とは違う先生の姿を知ることができます。

2023年度入学者から必修化される外国語学部のゼミは学科・専攻をまたいで履修できるため、さまざまな出会いと刺激があります。指導教員のもとで多様な意見を交わし、文献を精読し、先輩の姿を見て学び、アドバイスを受けながら研究することで、さらに自身の研究を深めることができます。

たとえば、こんなゼミ

英米語学科 矢頭典枝ゼミ

社会言語学やカナダ研究の分野で卒業論文の執筆をめざします。社会言語学の分野では世界各国の言語政策と言語問題、世界のさまざまな英語のバリエーション研究、言語問題などを扱っています。また、カナダ研究の分野では矢頭先生の専門性から、バイリンガリズム、多文化主義政策、移民政策などを主な研究対象としています。3年生は幅広くさまざまな文献を読み、4年生の卒論構想の発表を聞くことで、4年次からの本格執筆に向けた準備を行います。

矢頭ゼミの魅力

ゼミ内の仲間が同じ学問分野で研究を進めるので、お互いの視点が刺激になって自分の研究を多角的な視点でみることができます。

矢頭ゼミの最終ゴール

研究を深めることをゴールに文献からの論文ではなく、独創性のある論文のためにインタビューやアンケートなどの調査を繰り返し、調査力を身につけていきます。

ブラジル・ポルトガル語専攻 奥田若菜ゼミ

文化人類学を学びながら、ゼミ生は自分で研究テーマを選び、学内外で実地調査(フィールドワーク)を行います。3年生はゼミ論、4年生は卒業論文を執筆します。前期は「調べる・読む・共有する」でインプット中心、後期は「考える・書く・共有する」でアウトプット中心。ゼミ生は、自分の考えを「言語化」して共有することに日々挑戦しています。

奥田ゼミの魅力

ゼミでは教員と学生が密にかかわりあうことができるので、授業ともサークルとも違う刺激が受けられる場所であり、同じ目的意識を持った仲間とお互いに切磋琢磨できる環境があります。

奥田ゼミの最終ゴール

卒論を作り上げることだけが大事なのではなく、完成までのプロセスにおいて、自身のオリジナルデータをつくるなど、目的に向けてどう行動するか把握できる経験を色々と積んでもらうことを大事にしています。

学科・専攻指定研究科目(1年次～4年次)の強化と、研究コース(2年次～4年次)の改編

外国語学部では、国際教養人を育成するために「コミュニケーション能力」「異文化理解能力」「専門性」を身につけるカリキュラムを採用しています。研究科目は、その中で専攻言語圏に関する「専門性」を修得するために置かれています。英米語

2年次からの各学科・専攻の研究コース

英米語学科

- 英語研究コース
- 英語教育研究コース
- 英語圏地域研究コース

アジア言語学科

中国語専攻

- 言語研究コース
- 地域文化研究コース

韓国語専攻

- 言語研究コース
- 地域社会研究コース

インドネシア語専攻／ベトナム語専攻／タイ語専攻

- 言語文化研究コース
- 地域社会研究コース

学科は3コース、その他の学科・専攻は2コースを設け、学生はそれぞれが指定する研究科目を中心に学び、多角的な観点から物事を考察する力を修得します。

イペロアメリカ言語学科

スペイン語専攻／ブラジル・ポルトガル語専攻

- 言語文化研究コース
- 地域社会研究コース

国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション専攻

- コミュニケーション研究コース
- 国際・日本研究コース

国際ビジネスキャリア専攻

- コミュニケーション研究コース
- 国際ビジネス研究コース

国際教養人を育成する 神田外語大学の4年間

世界と国際を学ぶ神田外語大学の外国語学部とグローバル・リベラルアーツ

外国語学部のカリキュラム

外国語学部では全学科・専攻で「英語&地域言語・技能」のダブルメジャー制度を採用。世界共通言語としての英語と、各専攻言語の運用能力を高めるとともに、専攻言語圏の文化や歴史、政治、経済などに関する知識を学修します。2023年度からは、国際教養と高い専門性をさらに強化する新カリキュラムを導入し、世界で活躍するための「コミュニケーション能力」「異文化理解能力」「専門性」を身につけます。

外国語学部の4年間

| 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|---|-----|-----|-----|
| 強化 基盤教育科目 <small>アカデミックライティング クリティカルリーディング 数的思考法(データサイエンス初歩) デジタルリテラシー キャリアデザイン</small> | | | |
| 教養科目 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 英語科目(全学科・専攻) 地域言語科目(アジア言語学科・イベロアメリカ言語学科) 選択外国語科目(英米語学科・国際コミュニケーション学科) | | | |

強化 学科・専攻指定研究科目

| 強化 研究コース | 英米語学科 | <ul style="list-style-type: none"> 英語研究コース 英語教育研究コース 英語圏地域研究コース |
|---------------|---------------|--|
| | アジア言語学科 | 中国語専攻 |
| 韓国語専攻 | | <ul style="list-style-type: none"> 言語研究コース 地域社会研究コース |
| インドネシア語専攻 | | <ul style="list-style-type: none"> 言語文化研究コース 地域社会研究コース |
| ベトナム語専攻 | | |
| タイ語専攻 | | |
| イベロアメリカ言語学科 | スペイン語専攻 | <ul style="list-style-type: none"> 言語文化研究コース 地域社会研究コース |
| | ブラジル・ポルトガル語専攻 | |
| 国際コミュニケーション学科 | 国際コミュニケーション専攻 | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション研究コース 国際・日本研究コース |
| | 国際ビジネスキャリア専攻 | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション研究コース 国際ビジネス研究コース |

強化 研究演習・応用演習

※内容は変更となる場合があります。

(GLA)学部では、世界で活躍するための国際教養を身につけることができます。

グローバル・リベラルアーツ (GLA) 学部のカリキュラム

グローバル・リベラルアーツ学部では、世界の平和を考え、その実現のために行動できる力を養うカリキュラムを用意しています。ニューヨーク州立大学でリベラルアーツを学ぶ留学を見据えて、海外の大学レベルの英語運用能力(Academic English)を身につけると同時に、平和のためのグローバル教養を「Humanities」「Societies」「Global Studies」の3つの分野で学修。世界と対峙できる国際教養とアカデミックな英語運用能力を身につけます。

GLA学部の4年間

| | 1年次 | | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | |
|---------|-------------------------------------|-------|---|-----------------------------|---|--|---|-----|----|
| | 前期 (Global Challenge Term) 第1ターム | 第2ターム | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 外国語科目 | Academic English (Foundation) | | 海外スタディ・ツアー リトアニア インド マレーシア・ボルネオ エルサレム (予定) | Academic English (Advanced) | | 選択外国語(1言語を選択) 中国語 スペイン語 韓国語 フランス語 ドイツ語 ロシア語 イタリア語 アラビア語 ポルトガル語 ベトナム語 インドネシア語 タイ語 | | | |
| 基礎教養科目 | グローバル・ディスカバリー | | | グローバル・ヒストリー | 全学共通科目 <ul style="list-style-type: none"> 人文学分野 社会科学分野 自然科学分野 | | GLA 独自科目 <ul style="list-style-type: none"> ビッグデータ解析論 データ・サイエンス概論等 | | |
| GLA基礎科目 | グローバル・リベラルアーツ入門I | ACP* | グローバル・リベラルアーツ入門II | キャリアデザイン (GLA) | グローバル・キャリア | | | | |
| 専門教養科目 | アカデミック日本語 | | Humanities 人間と文化 | | Societies 社会と共生 | | Global Studies グローバル・スタディーズ | | |
| 演習科目 | 基礎演習 | | 講読演習 | | 研究演習 | | 卒業研究 (キャプストーン・プロジェクト) | | |

*ACP=Adventure Communication Program